

\*\*\*\*\*  
今日のカ  
\*\*\*\*\*

2025年1月20日～1月26日

翻訳 伊藤 若菜

編集 相川 忠義

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています  
※翻訳者・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

1月20日(月)

心の内

聖書朗読 マタイ 6:1～8

高ぶりは破滅に先立ち、心の高慢は倒れに先立つ。

箴言 16:18

私はアメリカ南部で育ち、「井戸の底にあるものは、いずれ桶で汲み上げられる」という諺をよく耳にしました。私は、その諺の教訓を胸に刻みました。確かに、心の中にあるものを、長く隠しておくことはできません。やがて、それは私の言葉や行いの中に現れてくるのです。

イエス様はこの教訓を宗教家たちに教えています。見せかけだけの行いをするな、敬虔な生活をしているかのようなふりをするな、自分が何かを良いことのために犠牲にしたからと言って、それを自慢するな、と。本当に重要なのは、心の中に何があるのか、だからです。

一般的に言って、私たちは自分の罪を隠そうとします。ですが、罪を隠し通すことは出来ません。日常の様々な場面で、私たちの罪は露呈してしまうのです。私たちは噂話をしたり、かんしゃくを起こしたり、愛する人をさえ侮辱することもあります。また、人を赦すことが出来なくなったりします。これらは全て、神様の目に罪なのです。

しかし、キリストは私たちの心を内側から変えてくださると約束されています。キリストは私たちの唯一の希望なのです。主は私たちを変える生ける水なのです！キリストは私たちの心を新しく造り変え、私たちの心の中に「生ける水の泉」を備えて下さるのです。そして、(井戸の桶が水を汲み上げ、人々を潤すように) 私たちも「生ける水」を周りの人々と分かち合うことが出来るようになるのです。

*霊的なクリスチャンの平安は キリストの臨在がもたらすもの  
霊的な人は、自分に内在する聖霊の支配に、日々自分をゆだねている  
それは聖なる生活と言えよう ー ルース・パクストン*

讃美歌 352 あめなるよろこび

祈り 神様、どうぞ自己中心的な私たちをきよめ、あなたの愛と恵みを周りの人々と分かち合う者とさせてください。イエスを通して。アーメン。

テネシー州 ブレントウッド / エリザベス・モーア

1月21日（火）

## お 金 と 信 仰

聖書朗読 マタイ 6：19～24

待ち望め。主を。雄々しくあれ。心を強くせよ。 待ち望め。主を。 詩篇 27：14

信仰はどのように子どもたちを変えていきますか？ 親として、信仰を育むために子どもたちに何が出来るのでしょうか？

私はよく、私の両親が何をしてくれたかを考えます。彼らはいつも、神様のために犠牲を払って何かをしていました。そのことにより、両親が信仰を大切にしていることを学びました。誰かの心の内を知りたいのであれば、お金の動きを追うと良いかもしれません。そこに大事なものが無いのであれば、彼らの心も大事なことからそれています。私の両親は大恐慌時代に子ども時代を過ごしていたので、1ドルの価値を身に沁みて知っています。ですが、両親はお金が全てではないことも知っていたのです。

子どもは親のことをよく見ていて、親にとって何が本当に大切なのかを理解しています。私たちは他人を騙すことは出来るかもしれませんが、自分たちの子どもを騙すことは出来ません。そして、子どもたちは私たち親を見ながら人格が形成されていくのです。子供たちは、神様が与えて下さる祝福を私たちがどう用いているのかを見ています。お金について話すことは、私たちにとって不快に感じる場合があるかもしれません。それは核心に近い話だからです。子供たちにあなたの心のありようを示すことで、子供たちの信仰の成長を助けましょう。

讃美歌 391 ナルドの壺ならねど

祈 り 神様、良い贈り物を私たちに与えて下さることに感謝します。喜びをもってあなたに捧げる人生を送ることが出来るよう、お導き下さい。私たちの主の御名によって。アーメン。

ニューメキシコ州 アルバカーキ / ステーブン・スチュアート

1月22日（水）

## 霊 的 な 健 康

聖書朗読 マタイ 9：1～8

そこで、イエスは彼女に言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを直したのです。安心して行きなさい。」 ルカ 8：48

私たちは、肉体の健康状態にはよく注意して生活する一方、霊的な意味での健やかさには、それほど注意せずに生活しているかもしれません。肉体の健康状態は、私たちにとってより身近な関心事である場合が多いと思います。ですから私たちは、肉体の健康状態の維持のために、様々な努力をします。もちろん肉体の健康状態の維持も大切ですが、私たちが肉体の健康状態の維持だけを考えているとしたら、私たちはとても大切なことを見落としていると思います。私たちには、霊的な意味での健やかさも必要不可欠なのです。

マタイ9章の「中風の人の癒し」の場面で、イエス様は中風の人に対し「立ち上がって歩きなさい」と仰る前に、まず「子よ。しっかりしなさい。あなたの罪は赦された」（マタイ9:2）と言われました。イエス様は、中風の人が肉体的な癒しだけでなく霊的な意味でも回復（救い）を必要としていることを知っておられました。そして、霊的な意味での回復（救い）は、肉体的な癒し以上に重要であることを、イエス様はご存知だったのです。

肉体的な癒しを求める私たちの祈りに対して、神様が中々応えて下さらないように感じる時が（私たちには）あるかもしれません。ですが、神様は私たちが一番必要としていることをご存知で、キリストを通して私たちの必要をすべて満たして下さいます。私たちは「目に見える癒し（肉体的な健康の癒し）」だけに関心を寄せがちですが、霊的な意味での回復（救い）へと導かれてこそ、私たちには真の喜びが与えられるのです。そして、愛と信仰と希望を持ちながら、再び立ち上がることが出来るのです。

讃美歌 360 疲れしころを

祈 り 親愛なる主よ、本当に大切なことを見極め、あなたのご計画に信頼することが出来ますよう、助け導いてください。イエスの御名によって。アーメン。

ニューメキシコ州 グランツ / ランディ・ロバーツ

1月23日（木）

私たちが信頼を置くべき救い主

聖書朗読 マタイ 10：28～33

わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がせてはなりません。恐れてはなりません。 ヨハネ 14：27

私たちが住むこの世界には、私たちが恐れを抱くような問題が山ほどあります。ですから、もし毎朝、その日に起こり得る悪いことばかり考えていたら、家から出られなくなるかもしれません。この世界は、危険で満ちているのも事実だからです。

世界には、悪だくみをする人々も残念ながらいます。ですから、どんなに賢い弁護士でも、私たちが直面するあらゆる問題から完全に私たちを保護することはできません。法律の隙間をかいぐったり、人の善意を悪用したりして、私たちを騙し問題と直面させる、ということは起こり得ます。結局のところ、すべての問題や災難をカバーできるセーフティネットを提供することは、この世の知恵や仕組みでは出来ないのです。ですから、私たちの魂の救いも、この世の知恵や仕組みがもたらすことは決して出来ないのです。

しかし、神様は私たちをお救いになることが出来ます。神様は、すべてをご存知で、驚が野原からネズミを捕まえる瞬間も、私が椅子の脚につま先をぶつけてしまう時も、すべてをご覧になり、心に留めておられます。

さらに、神様は「私たちが何を必要としているのか」ということについても、すべてをご存知です。そして、私たちの物質的な必要も霊的な必要も備えてくださり、私たちの体も魂も養って下さいます。そのように私たちを守り愛して下さる神様と私たちを引き離すことが出来るものは、世界にはありません。ですから、その神様にこそ、私たちは信頼を置きましょう。

讃美歌 270 信仰こそ旅路を

祈り 父なる神様、私が無力で孤独だと感じる時でさえ、あなたが私を見守り、気にかけて下さっているとは、なんと素晴らしいことでしょうか。感謝いたします。イエスの御名によってお祈りいたします。アーメン。

カンザス州 オラセ / リチャード・E・ウルフ

1月24日（金）

水の上を歩いたペテロ

聖書朗読 マタイ 14：22～33

主は私の味方。私は恐れない。人は、私になにができよう。 詩篇 118：6

本日の聖書箇所にある、「主イエスが水上を歩かれた」という出来事は有名です。そして、僅かでしたが、（主イエスだけでなく）ペテロも水上を歩きました。何という驚くべき出来事でしょうか。そして、この出来事は私たちに次のことも教えているのです。すなわち、ペテロの水上の一步一步は、私たちの信仰の一步一步と重ねて考えることが出来る、ということです。

イエス様は「恐れるな」と言われ、ペテロは（少なくともしばらくの間は）恐れませんでした。つまり、彼はただイエス様の言葉を全面的に受け入れ、嵐も海も、何も恐れなかったのです。ペテロが主の言葉を信じ、主を見つめていた時、ペテロに恐れは全くありませんでした。そして、私たちも同じように、主のことばをしっかりと受け止め、主に心の目を向ける時、私たちも恐れから解放されるのです。

使徒ヨハネは、「全き愛は恐れを締め出します」（Iヨハネ4：18）と記しています。ペテロは、「完全な愛」の源である主イエスに信頼を置き、主イエスの方を向いて進みました。そして、そうしている時、ペテロはすべての恐れから解放されていたのです。

私たちも、恐れから解放されることが出来ます。それは、「信仰の創始者で、完成車であるイエスから目を離さないで」（ヘブル12：2）、主に全幅の信頼を置くときです。そして、そうする時、人生の嵐の中でも、前進することが出来るのです。

聖歌 472 人生の海のあらしに

祈り 天のお父様。あなたを疑う私たちをお赦してください。あなたの完全な愛に、私たちが気付くことが出来ますように。私たちが人生の嵐と遭遇する時、あなたの救いの御手が近くにあることを決して忘れません。イエスの御名によって。アーメン。

ルイジアナ州 ウェスト・モンロー / ダニー・ジョンソン

1月25日（土）

## 失われている者への神様の愛

聖書朗読 マタイ 18：10～14

人の子は、失われている者を救うために来たのです。

マタイ 18：11

カリフォルニアに住む多忙な夫婦のもとに、アリゾナに住む親友から涙ながらに電話がかかってきました。彼女は絶望的な声で、不貞のせいで結婚が終わったと信じていると説明しました。多忙な夫婦は、すぐに（ベビーシッターを手配するなどして）育児を調整し、一週間仕事を休んでアリゾナまで車を走らせ、友人を励まし、支えに行きました。そして彼らは、結婚カウンセリングのためのお金をその友人に与え、またその友人に寄り添い支えてくれるクリスチャンたちを紹介するなどしてから、カリフォルニアに戻りました。

この話を聞いて、私は本日の聖書朗読箇所のとえ話を思い出しました。羊飼いは、一匹の迷える羊を捜すために、何でもするのです。これが私たちの神様のあり方です。神様はご自分の羊が一匹も失われることを望まれません（マタイ 18:14）。

もしかしたら、私たちは、周りにいる助けを必要としている方々に対し、あまり積極的な姿勢を持っていないかもしれません。それは、「助けの手を差し伸べることで、かえって新たな問題を引き起こしてしまうのではないか」という私たちの恐れがあるからかもしれません。或いは「他の誰かがもっと適任だろう」と考えてしまうからかもしれません。ですが、今周りに助けを必要としている方がもしおられるなら、何か自分に出来ることをしてみませんか。神様の愛に基づいて何かするとき、そこに神様が働いてくださいます。神様はあなたを通して働いて下さり、助けを必要としている方々を導いてくださいます。

讃美歌 II 編 26 ちいさなかごに

祈り 親愛なる主よ、私たちは、一人一人があなたの目かけがえのない存在であることを知っています。今助けを必要としている方が立ち直るためのお手伝いをするための勇気を与えてください。イエスの御名によって。アーメン。

アーカンソー州 サーシー / H. グレン・ボイド

1月26日（日）

## あなたにとって神様はどんなお方ですか？

聖書朗読 マタイ 25：14～28

盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。 ヨハネ 10：10

主イエスが「タラントのとえ」をお話になったのは、どうしてでしょうか。神様が「厳しい主人」のようであるからでしょうか。そんなことはありません。

以前、こんなことがありました。バスケットボール選手がシュートを外すと、「なんであんなシュートをするんだ！」と怒鳴るコーチがいました。「外すならシュートするな！」と。やがて選手たちはシュートすることを恐れるようになりました。

次のシーズン、新しいコーチが来ました。彼は一人の選手がシュートを怖がっているのに気が付き、「チャンスがあるときは、いつでもシュートしろ！」と叫びました。その選手は、「でも外れるよ、僕はシュートが下手なんだ」と答えました。新しいコーチは「それは分かっている。だからこそシュートしてほしいんだ！シュートをし続けられない限り、上達することはないんだ」と答えました。このコーチが選手たちに与えたインパクトはどれだけのものだったのでしょうか。彼は、選手たちの失敗を容認し、成功のための勇気を持たせたのです。

神様は私たちの限界も、可能性も、私たちよりもはるかによく知っておられます。そして神様も、私たちの失敗を（いわば）容認なさいますが、それは私たちの生き方をどうでも良いと考えておられるからでは決してなく、逆に神様が私たちをいつでも深く愛しておられるからです。「神様が、私たちをいつでも深く愛しておられる」ことを知ることは、私たちが霊的に成長する上でとても大切なことです。神様は、「厳しい主人」のようではなく、私たちをいつでも深く愛しておられる方であるということ、心に刻みましよう。神様がそのようなお方であることを知る時、私たちは、失敗をしながらでも神様と共に歩み、成長することが出来るのです。

讃美歌 II 編 188 きみのたまものと

祈り 父なる神様、私たちが、恐れからではなく、あなたへの喜びをもってあなたにお仕えしていくことが出来ますよう、お導き下さい。イエスの御名によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / デヴィッド・ランフォード